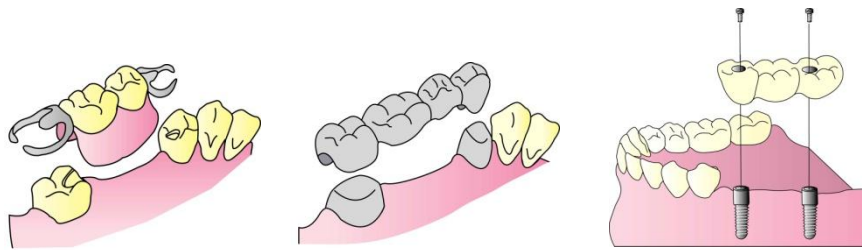


口は健康のもと Vol.199

失った歯の治療法 - 長所と短所 -

現在の歯科医学において失った歯を回復するには、ブリッジ、入れ歯、インプラントの3つの方法があり、それぞれに長所と短所があります。ブリッジは一般的に取り外す必要がなく違和感が少ない、比較的に見た目が良いという利点がありますが、歯の清掃が難しく虫歯や歯槽膿漏になりやすい、健康な歯であっても土台とするために削る必要があるという欠点があります。入れ歯の利点には治療期間が比較的短いことが挙げられますが、欠点には取り外し式で異物感があること、噛んだときに動くことがあるため製作してもうまく使えない場合があること、バネが見える場合があることが挙げられます。インプラントは一般的に取り外す必要がなく違和感が少ない、見た目が良い、土台とするために周囲の歯を削る必要がないという利点がありますが、高額で期間を要し手術を伴う欠点があります。また、顎の骨が極端に少ない場合、口が開きづらい（顎関節症）場合には適用が難しく、全身疾患（高血圧症、糖尿病、骨粗鬆症、血管・血液疾患、アレルギー疾患など）があると治療ができない場合があります。

これらをふまえ十分な説明を受けた上で治療方法を決定することが重要です。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 講師 松本 知生

